

2、目 標 達 成 計 画

事業所名 グループホーム田苑
作 成 日 令和 3年 11月 26日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	25	利用者の高齢化・重度化に伴い、以前に比べ、レクや行事などでの楽しみや喜びの反応が低下してきている。 職員の介入なしで、利用者同士のコミュニケーション(会話・やりとり)が少なくなっている。 業務が多忙で、利用者と多く関わる時間が取れない時がある。(感染症対策や身体的な介護にかかる時間が増えている。)	生活の中で、生きがいや楽しみを持つことを継続することで、心身機能や意欲の低下の維持・向上を図り、利用者本人の興味や意欲を引き出せる支援を全職員が行うことで、利用者にとって、より生きがいのある生活が出来るようにしたい。 レクなど通して利用者に関わる機会を増やせるように、定期的に業務の見直し・改善を行う。	①目標、取り組み内容の周知。全ての利用者と、より一層 コミュニケーションを取れるように積極的に関りをもつ事を心掛ける。 ②利用者の現況の把握と利用者個別の趣味(興味)や嗜好、生きがい(やりがい・出来ること)を再確認する。意見交換し、個別に表やノートに整理する。 ③集団・個別レク等の実践。利用者の状況(表情・意欲・反応など)を確認し記録する。 ④実践状況を意見交換で確認、再検討する。利用者の状況(生きがい・出来ること・生活の変化など)を確認する。 ⑤利用者に関わる機会を増やせるように、定期的(3月ごと)に業務の見直し・改善を行う。 ⑥記録業務のIT化・効率化～タブレット端末での記録の推進。 ⑦勉強会の企画と開催～年1回(自己実現と生きがいづくり、認知症の理解、など)。	令和3年12/1 ～ 令和4年11/30
2	21	コロナ渦の影響もあり、家族・地域との交流や情報伝達・交流が少なくなった。	コロナ渦でも家族・地域との交流や情報伝達・交流を維持・向上したい。	①年間・月間行事を家族・地域に案内する。早めに計画を立てて計画表を作成する。 ②田苑通信を個人別に送付し、各利用者の現況を報告する(1～2か月ごと)。写真を添付し、日常のお元気な姿(食事の風景など)を確認していただく。 ③感染対策を行いながら面会の機会を設けるが、利用者の心身状況に応じながら、電話をしたり、手紙をやり取りする機会を設ける(ご家族にも協力をお願いする)。	令和3年12/1 ～ 令和4年11/30